

事業所名		都島区障がい者相談支援センター				変更又は改善内容			
0 相談支援事業所の概要		昨 年 度				今 年 度			
0-1 実施状況について									
	法人名称	特定非営利活動法人あるる							
	法人所在地	都島区中野町3-4-21 ベルエキップオグラン1階							
	事業所名称	自立生活センター・あるる							
	事業所所在地	都島区中野町3-4-21 ベルエキップオグラン1階							
	電話番号	0 6 - 6 3 5 5 - 3 7 0 1							
	ファックス	0 6 - 6 3 5 5 - 3 7 0 2							
	実施曜日	月曜日～金曜日							
	実施時間	9：00～17：30							
	同一場所で開催しているその他の事業	介助派遣・生活介護							
	実施法人で開催しているその他の事業	介助派遣・生活介護							
事業所の特長	障害当事者が中心となって運営する自立生活センターで、代表・事務局長が障害者であり、意思決定機関も障害者が過半数を占める。同じ障害をもつ仲間として当事者の立場に立った支援を心がけている。ピアカウンセリングや自立生活プログラムを通じて、本人のエンパワメントを図る。								
0-2 事務室等について									
	事務室	27 m ²	☒ 専用	☐ 共用			☐ 専用	☐ 共用	
	相談室	7 m ²	☐ 専用	☒ 共用			☐ 専用	☐ 共用	
	その他		☐ 専用	☐ 共用			☐ 専用	☐ 共用	
0-3 職員の状況									
	常勤職員		非常勤職員		常勤職員		非常勤職員		
	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	
		3 人		1 人		3 人		1 人	
		内当事者 3 人		内当事者 1 人		内当事者 3 人		内当事者 1 人	
0-4 職員の勤務体制									
	週5日の開所で、週5日勤務の職員と週4日勤務の職員で、開所日は常に複数の職員で対応できる体制を取っている。								
0-5 ピアカウンセリングの実施状況									
	障がい名	実施曜日	実施時間		障がい名	実施曜日	実施時間		
	肢体障害	月曜日～金曜日	9：00～17：30						

事業所名		都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
1 事業運営全般		昨 年 度	今 年 度
1－0 理念・基本方針			
		当センターは、あらゆる活動を通して、障害者が施設ではなく、地域でいきいきと自分らしく暮らしていくことのできる社会に変えていくことを目指しており、その目標を達成するために、本人自身のエンパワメントと地域社会に対する啓発活動を始め、必要な社会資源の開発もおこなっている。とりわけ、相談支援においては、当事者主体の自立支援の観点から、利用者の立場に立った相談支援を行なっており、本人自らが積極的に、さまざまな経験を重ねていく中で、本来持っている力を発揮できるよう支援することを心掛けている。 具体的な取り組みとして 1. ピア・カウンセリング 2. 自立生活プログラム 3. 情報提供・発信 4. 権利擁護 5. 研修・啓発 6. その他 などを実施している。 誰もが、かけがえのない存在であり、どんな人も大切にされる社会に変えていくために、たくさんの人の協力を得ながら、社会に向かってメッセージを発信していきます。	

事業所名		都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-1 運営体制		昨 年 度		今 年 度	
1-1-① 事業運営の評価		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a	事業の理念・基本方針を実現するための具体的な取組みを示す中・長期的な計画が定められている。	4	中・長期的な計画を定めている。		
			今後も今までと同様、計画的な事業展開を目指す。		
b	中・長期的な計画を踏まえた年度ごとの事業計画を策定している。	4	年度ごとの事業計画を定めている。		
c	中・長期計画、年度ごとの事業計画に基づき事業を実施し、その結果を評価している。	4	中・長期計画、毎年度ごとの事業計画に基づき事業実施し、その結果は外部の様々な障害者支援の関係者で構成された運営委員会でスーパーバイズを受け、評価頂いている。		
d	事業の評価の結果は、次期計画に反映している。	4	外部の様々な障害者支援の関係者で構成された運営委員会で、実施事業の評価を受けており、その評価に基づいて次年度計画の見直しなどしている。		

事業所名			都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1－2 適切な相談支援の実施			昨 年 度		今 年 度	
1－2－① 自己決定の尊重			評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a		必要な情報を理解できるように提供するとともに、体験、経験する機会を設けるなど利用者が主体的に自己決定するための条件整備に努めている。	5	法制度など、理解しにくい内容の情報について、本人が理解できるよう解説し、提供しよう心がけている。事務所２階に自立体験室を設置し、必要に応じて利用者が、介助を使った生活の体験ができる機会を設けたり、個別に自立生活プログラムを組んで調理や金銭管理等の必要な情報を理解できるようにしたり、利用者が主体的に自己決定するための条件整備に努めている。		
b		障がいに応じたコミュニケーション手段を保障している。	4	文字盤やピクトグラムの活用や簡単な手話、筆談など、本人が理解できるコミュニケーション方法を用いている。必要に応じて、情報保障として拡大文字やルビ表示などの情報提供を行っている。		
1－2－② エンパワメントの重視			評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a		相談支援を進めるにあたっては、常に利用者のエンパワメントが図られるよう努めている。	5	ピアカウンセリングや自立生活プログラムを通して、障害のある自分を受け入れることやさまざまな経験を通して社会生活力をつけることを本人を中心とした支援をおこないエンパワメントを図っている。		

事業所名		都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-2-③ コミュニケーションに関する配慮	a	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
		4	文字盤やピクトグラムの活用や簡単な手話、筆談など、本人が理解できるコミュニケーション方法を用いている。必要に応じて、情報保障として拡大文字やルビ表示などの情報提供を行っている。		
	b				
		4	日常的な関わりを通じて、表情の変化など、その人固有のコミュニケーション手段やサインの発見と確認を心がけている。		
	c				
		4	利用者が意思伝達に制限があり、本人が信頼する第三者に入ってもらいたいという場合はそれを受け入れ、本人がコミュニケーションの取りやすい環境作りをし、常に利用者の意思や希望を正しく理解できるよう心掛けている。		

事業所名		都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
	1－2－④ 権利擁護	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
		4	当事者主体を重んじる自立生活センターとして、利用者の立場に立って支援するとともに、本人自身が権利擁護していけるようエンパワメントされるように支援することを心掛けている。		
		4	差別事象や人権侵害を受けたという相談があった場合、事実確認を行った上で必要に応じて介入や専門機関との連携を図ることを心掛けている。		
		4	本人の訴えや通報等あった場合、状況把握を行った上で関係機関と連携し支援するよう心掛けている。		

事業所名		都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1－3 地域・他機関との交流・連携		昨 年 度		今 年 度	
1－3－① 他の関係機関との連携		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a	担当区域の地域自立支援協議会に積極的に参加し、様々な取組みを提案するなど、協議会の活性化に努めている。	3	都島区の地域自立支援協議会に委員長として参画し、成年後見に関する講演会や福祉サービス事業所連絡会での研修会など取り組んできたが、地域のネットワーク作りには苦慮している面がある。	4	都島区の地域自立支援協議会に委員長として参画し、区保健福祉センターの事務局と協働して本会議や運営会議を運営している。東日本大震災による被災地から被災障害者の支援にたずさわっておられる方を招いての講演会開催や、サービス事業所連絡会の開催など取り組んだ。また、委託相談支援事業者として地域のネットワーク作りや啓発として、いくつかの研修会や会議等で障害者の地域生活の実際の様子や、区内の相談支援体制についての紹介などに努めた。
			都島区地域自立支援協議会の専門部会として「相談支援部会」「地域当事者部会」に加え、新たに「こども部会」の取り組みをはじめ、また地域の学校への福祉教育プログラムも実施していく。		
b	協働する関係機関や関係団体等が増え、連携が深まっている。	4	医療との連携も重要な利用者が増え、協働する関係機関との連携がさらに広がり深まっている。また、多方面の支援関係機関や関係団体を交えたケース会議の開催も増え、より本人中心の支援関係が強まっている。		
1－3－② 地域の障がい者の状況把握		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a	相談者に限らず、地域の障がい者を取り巻く状況や課題はおおむね把握できている。	3	地域の事業所と協働して支援するケースも増え、地域の障害者を取り巻く状況や課題は少しずつではあるが把握してきている。	4	行政（障害福祉、生活支援ワーカー）や、医療機関（医師、訪看、PT、MSW等）、後見人、あんしんサポート、ケアマネ、サービス提供事業所等の方々とチームアプローチで支援しているケースが多いため、情報交換も多く、地域の障害者を取り巻く状況や課題の把握に努めている。
b	障がい者支援機関のみならず地域の福祉・労働・教育・保健医療機関と定期的な会議を開催する等によって、ニーズの把握に努めている。	3	地域の連合町会長会に参加させていただいたり、施設連絡会等にも積極的に参加し、大学での会議やゲスト講義など対応し、関わりのある機関と連携からニーズの把握に努めている。	4	民生委員協議会や地域生活支援ワーカー連絡会、介護支援専門員研修会などで、障害者の地域生活の実際の様子を伝えたり、区内の相談支援体制について紹介などしながら、各機関や地域の方たちとの連携、ネットワーク作りから、ニーズの把握に努めている。
					地域支援調整チーム実務者会議（虐待防止連絡会）、地域福祉コーディネーター連絡会にも障害者相談支援の立場から継続的に参画していく。

事業所名			都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容			
		c	アウトリーチ活動に取り組むことにより、ニーズの把握に努めている。	4	毎年1～2名、施設や病院からの地域移行支援に取り組んでいるため、他市・他区への訪問も多い。			
1－3－③ 地域の社会資源の把握			評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）	
		a	サービス提供事業所や専門相談機関を把握している。	4	自立支援協議会にて事業所連絡会を開催してきたことで、多くの事業所に対して名前だけではなく実際のサービス内容まで把握することができ、また相談支援を通じて専門機関と協働することも多く、その把握に努めた。	4	実際の個別支援を通してサービス提供事業所や専門機関と連携することが多く、また自立支援協議会の事業所連絡会にてサービス提供事業所と交流を図ってきたこと等により、実際のサービス内容の把握に努めている。	
		b	学校園・ハローワークなど関連機関の情報を収集している。	3	実際の支援を通して関わりを持てた学校やハローワークなどの関連機関の把握はできている。			
		c	民生委員、地域ネットワーク委員、ボランティア団体などを把握している。	3	当センターの所在する地域のネットワーク委員とは、支援や取り組みを通じて連携、把握できてきている。	4	民生委員協議会や福祉コーディネーター連絡会、ボランティア・市民活動センターなどの取り組みを通じて、連携・把握に努めている。	
							当センターの所在する中野町の中野まちづくり協議会にも構成団体として参画し、さらに連携・把握に努める。	
		d	駅や図書館、スポーツセンターなどの公共施設や、金融機関や飲食店、商店などの民間施設、障がい者用トイレやエレベーター等の設備の情報を収集している。	4	交通アクセスや街づくりに関しての取り組みも積極的に取り組んでおり、情報収集にも努めている。さらに京橋地区バリアフリー基本構想の見直しのため、障害者が地域の公共施設や民間施設等で使いづらい箇所があるかどうか現地調査と意見交換会を実施し、その把握に努めた。	4	集合住宅のエントランスの段差などバリアフリー状況について他団体と協働して実態調査し、府の福祉のまちづくり条例への提言にも調査結果の活用ができた。	
					自立生活の場ともなりうる集合住宅のエントランスの段差など、バリアフリー状況についても調査を進めている。 また、おおさか東線の新駅設置に向けても駅舎や周辺環境のバリアフリー状況の調査を進めていく。		鉄道駅の無人化問題が広がってきているが、京阪の時間無人化問題に関しても実態調査と、京阪鉄道との意見交換・協議など行っていく。	

事業所名		都島区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
	1-3-④ 社会資源の改善・開発に向けた取組み	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
	a既存のサービスの活用だけでなく、既存の社会資源の「改善」や新たな社会資源の「開発」に向けて取り組んだ。	2	施設からの地域移行を取り組む中で、地域に作業所など日中活動の社会資源がなかったので、自分たちで作業所を作った経緯があり、それを生活介護に移行し、地域での自立生活を獲得する障害当事者の社会参加の場づくりをしてきたが、その後あらたな開発はできていない。		
	1-3-⑤ 支援困難事例への積極的な対応	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
	a多問題を抱えた事例や、問題が長期にわたって継続し、解決の糸口を見つけることが困難な事例など支援困難事例への対応を積極的に行っている。	4	ケース検討を実施しスーパーバイズを受ける体制作りや、複数のスタッフで支援する体制（チームアプローチ）を取るようしており、さらに医療との連携が必要な利用者に対応するために、積極的に医療機関とのネットワーク作りもした。		
	1-3-⑥ 地域住民への周知・啓発的活動の実施	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
	a障がい者相談支援センターは、自らの役割について地域住民に対して積極的な周知を図っている。	4	地域のイベントでの発信や機関紙の発行を通じて周知を行なっている。	4	「区民まつり・福祉ふれあいフェスタ」に参加して地域の方々と交流したり、パンフレットの設置、機関紙「あるる箱」の定期的な発行を通じて周知に努めている。
					区内の障害者相談窓口の案内パンフレット作成と設置も行い、さらに周知を図っていく。
	b地域住民との交流や講演会の開催等を通じて、障がい者が地域で共に生きていく意義をはじめ、啓発的活動に積極的に取り組んでいる。	5	一般公開セミナーとして「差別禁止法についての学習会」を開催し、「福祉ふれあいフェスタ」では地域の子どもたち向けに遊びコーナーを設け、また、「友渕小学校ふれあいまつり」では車椅子体験コーナーを実施し、子どもたちへの障害啓発と交流をしてきました。ボランティアとの連携では、地域の障害者の外出やレクの取組みを中心に大工大ボランティア研究会の学生たちにも随時協力していただきながら企画を行ってきました。	5	災害時の要援護者支援について講演会開催や、地域単位の防災訓練に障害者支援の団体、立場として参加し、障害者が地域で共に生きていくことの大切さを啓発するなど取り組んできている。また、地域の障害者の外出取組みなど通じて、学生ボランティアとの連携により、地域の方たちへの啓発的活動に取り組んだ。
					区内9地域を3地域ごとに分けて地域福祉会館を会場に、地域住民向け「障害者理解の推進プログラム」（研修会）を開催。

事業所名		都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
1－4 その他の取組み		昨 年 度	今 年 度
		・「ピア・カウンセリング」はコスタリカの障害者研修生も交えたピアカン集中講座を開催した。 ・「集団 I L P（自立生活プログラム）」は“地域サポートネットほうぶ”と共同でクッキングに関するテーマで開催した。 ・東北関東大震災による被災地石巻へ訪問し、被災地障害者とのつながりを作り、ピア・カウンセリングの実施につなげた。 ・アクセス問題への取り組みとして、各鉄道事業者やバス事業者との交渉や接遇研修を実施した。	入所施設からの地域移行や、精神科病院からの地域移行は実際に取り組んでいるところであるが、新たな自立生活をめざす方を掘り起こすための「集団 I L P（自立生活プログラム）」を”パーティづくりを企画する”というテーマで開催した。施設入所中の方 3 名、在宅から自立生活への移行取り組み中の方 1 名、計 4 名の方が参加。複数名という集団で楽しみながら自立生活プログラムに取り組むことで、互いに助け合いながらの企画となり、同じ目標を持つことで参加者間の交流も生まれやすく達成感を共有することができた。

事業所名			都島区障がい者相談支援センター								変更又は改善内容											
2 日々の相談支援業務			平成24年度								平成25年度											
2－1 継続支援対象者数																						
①継続的な委託相談支援を行った実人数（指定相談支援を除く）																						
	身体障がい	障がい種別	前年度末の登録者数	当年度新規登録者数	当年度登録解除者数	当年度末登録者数	前年度末の登録者数	当年度新規登録者数	当年度登録解除者数	当年度末登録者数												
		視 覚 聴 覚 肢 体 内 部 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
			0	0	0	0	0	0	0	0	0											
			9	0	1	8	8	9	3	14	14											
			0	0	0	0	0	0	0	0	0											
		9	0	1	8	8	9	3	14	14												
		知的障がい	0	0	0	0	0	3	1	2	2											
		精神障がい	0	0	0	0	0	3	0	3	3											
		障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
		重複障がい	3	0	1	2	2	5	4	3	3											
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
	合 計	12	0	2	10	10	20	8	22	22												
②指定特定相談支援を実施した実人数		身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい	計	身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい等	計											
		26 人	11 人	22 人	5 人	64 人	17 人	3 人	22 人	3 人	45 人											
2－2 相談支援内容			平成24年度								平成25年度											
①延べ相談件数			身体障がい					知的障がい	精神障がい	重複障がい	その他	計	身体障がい					知的障がい	精神障がい	重複障がい	その他	計
			視覚	聴覚	肢体	内部	計						視覚	聴覚	肢体	内部	計					
福祉サービスの利用援助			3	0	317	0	320	42	153	99	6	620	8	0	221	0	229	47	86	108	13	483
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	103	0	103	0	2	35	0	140	0	0	138	0	138	14	22	40	0	214
社会資源を活用するための支援			2	0	128	0	130	19	30	46	1	226	1	0	12	0	13	6	22	11	0	52
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	54	0	54	0	1	20	0	75	0	0	7	0	7	4	1	8	0	20
社会性活力を高めるための支援			0	0	113	0	113	11	4	16	2	146	1	0	57	0	58	10	6	5	0	79
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	42	0	42	0	0	10	0	52	0	0	54	0	54	10	0	2	0	66
ピアカウンセリング			5	0	103	0	108	8	55	17	1	189	4	0	38	0	42	6	13	4	0	65
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	37	0	37	0	1	0	0	38	0	0	31	0	31	3	1	1	0	36
権利擁護のために必要な援助			0	0	8	0	8	4	1	1	0	14	0	0	1	0	1	25	0	1	0	27
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	8	0	8	0	0	1	0	9	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
専門機関の紹介			0	0	12	0	12	2	2	2	2	20	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他			4	0	95	0	99	16	28	13	2	158	1	0	103	0	104	19	49	34	2	208
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	11	0	11	0	0	1	0	12	0	0	23	0	23	2	18	4	0	47
合計			14	0	776	0	790	102	273	194	14	1373	15	0	433	0	448	114	176	163	15	916
うち、継続的な支援対象者の件数			0	0	256	0	256	0	4	67	0	327	0	0	254	0	254	33	42	55	0	384
②相談の実施方法			来所相談	電話相談	訪問相談	その他	合計	来所相談	電話相談	訪問相談	その他	合計										
			416 件	736 件	155 件	3 件	1310 件	251 件	549 件	127 件	18 件	945 件										

事業所名		都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
2－3 日々の相談件数の分析		平成24年度	平成25年度
		・昨年度は計画相談の始まった年であり、当該表にはその件数表示はないが大幅に増えた一年であった。 ・やはり福祉サービスの利用が浸透してきたのか、その利用援助に関する相談が圧倒的に多い。 ・その他、当事者相談員に時間をかけてじっくりと何度も話を聞いてほしいというような相談も多くピアカウンセリングの件数とその次に多くなっている。	・委託相談から計画相談に移行していくケースが多く、前年より相談件数は減っている。 ・全般的に福祉サービス利用のすそ野が広がってきているのか、その利用援助に関する相談が多い。

事業所名		都島区障がい者相談支援センター				変更又は改善内容							
2－4 住宅入居等支援事業の実施状況		平成24年度				平成25年度							
①実施状況		入居斡旋件数		登録者数		緊急対応件数		入居斡旋件数		登録者数		緊急対応件数	
	身体障がい	18 件		6 人		3 件		0 件		4 人		0 件	
	知的障がい	0 件		0 人		0 件		0 件		0 人		0 件	
	精神障がい	0 件		0 人		0 件		0 件		0 人		0 件	
	重複障がい	0 件		1 人		0 件		0 件		0 人		0 件	
	その他	0 件		0 人		0 件		0 件		0 人		0 件	
計		18 件		7 人		3 件		0 件		4 人		0 件	
②緊急対応の内訳		時間帯別		平日・休日別		時間帯別		平日・休日別		時間帯別		平日・休日別	
	夜間出動	1 件		休日出動		1 件		夜間出動	0 件		休日出動	0 件	
	日中出動	2 件		平日出動		2 件		日中出動	0 件		平日出動	0 件	
	合 計	3 件		合 計		3 件		合 計	0 件		合 計	0 件	
	出動要請者		出動内容		出動要請者		出動内容		出動要請者		出動内容		
	本人		3 件		病気・けが等の発生		0 件		本人	0 件		病気・けが等の発生	
	家主		0 件		精神症状の悪化		0 件		家主	0 件		精神症状の悪化	
	近隣		0 件		日常生活上のアクシデント		0 件		近隣	0 件		日常生活上のアクシデント	
	警察・消防		0 件		家事・災害等		0 件		警察・消防	0 件		家事・災害等	
	医療機関		0 件		近隣からのクレーム		0 件		医療機関	0 件		近隣からのクレーム	
	その他		0 件		その他		3 件		その他	0 件		その他	
2－5 業務委託料の収支精算について		平成24年度				平成25年度							
①歳入													
	科 目	金 額		内 訳		金 額		内 訳		金 額		内 訳	
	業務委託料	13,282,000 円				13,232,000 円							
	預金利子	0											
	その他	9,153,693 円		繰入金収入		1,257,268 円		繰入金収入					
	合 計	22,435,693 円				14,489,268 円							
②歳出		平成24年度				平成25年度							
	科 目	金 額		内 訳		金 額		内 訳		金 額		内 訳	
	人件費	16,829,520 円				11,658,186 円							
	常勤職員人件費	8,276,410 円				8,469,176 円							
	非常勤職員人件費	8,553,110 円				3,189,010 円							
	物件費	5,606,173 円				2,831,082 円							
	法定福利費					1,347,531 円		社会保険料・労働保険料					
	福利厚生費					30,419 円							
	講師謝金					42,868 円		学習会・セミナー講師への謝礼					
	行事関連費					9,251 円							
	通勤交通費					106,360 円							
	旅費交通費					141,460 円							
	会議費					22,985 円		運営委員会の会場費・軽食費等					
	交際費					18,900 円							
	通信運搬費					124,936 円							
	消耗備品費					14,985 円							
	消耗品費					64,002 円							
	研修費					36,432 円		セミナーや講座参加にかかる資料代、交通費、宿泊代等					
	リース料					113,904 円		パソコン・電話・コピー機					
	保険料					32,748 円							
	水道光熱費					41,195 円							
	地代家賃					144,000 円		事務所家賃					
	活動費					421,750 円							
	諸会費					69,534 円							
	支払手数料					40,162 円		顧問料（社会保険労務士）					
	振込手数料					6,460 円							
	租税公課					1,200 円							
	合 計		22,435,693 円				14,489,268 円						

事業所名	都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
3 区における地域課題について	昨 年 度	今 年 度
区における全般的な課題についての現状認識及びその解決・改善に向けた提案・提言など		
		計画相談においては、区内の相談支援事業所の箇所数が増えないなかで、来年度から全てのサービス利用者の計画作成となると、到底困難な状況である。また、社会資源としてのサービス提供事業所の箇所数も少なく、特に日中活動系の場は少なかったり既に利用がいっぱいであったり、相談者が新たにサービス利用に結びつくことが難しい状況である。これらの地域課題を踏まえて、相談支援事業をはじめとするサービス提供事業所も含めた社会資源の新規創設のための取り組み、および育成に取り組んでいかなければならない。

事業所名		都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容	
4 自己評価を終えて		昨 年 度	今 年 度	
4－1 区協議会での報告				
		報告日	平成25年11月12日	平成26年11月11日
		出席者からの意見		
		0 相談支援事業所の概要		
		1 事業運営全般	【質問】 6 頁に人権侵害や虐待に関しての取り組み評価項目があるが、件数等報告されている部分はあるか？ 【回答】 人権侵害に関する権利擁護としては 1 1 頁に件数報告しているが、虐待対応の件数は当該シートには出ていない。ちなみに都島区では障害者虐待として確認されたのが 3 件、内あるで対応したのは 1 件。	【質問】 取り組み報告のなかにある「集団ILP」は、精神障害の方も参加できるか？ 【回答】 今回報告の「集団ILP」にも精神障害の方が参加されました。同じ目標を持ち、お互い助け合いながら参加できる方であれば、障害種別を問わず個別に相談し参加いただけます。 【質問】 実際に取り組みをされている地域の学校への福祉教育や、地域課題に対するアンケート調査は、報告にあがらないのか？ 【回答】 2014年度取り組みとして、来年度報告することになります。
	2 日々の相談支援業務	【質問】 1 1 頁の相談件数で、「相談の実施方法件数」と、「延べ相談件数」の合計が合わないのはどうしてか？ 【回答】 「延べ相談件数」は、1 件の相談で複数の相談内容が含まれている場合があるため「相談の実施方法件数」のほうが多くなる。 【質問】 精神障害の方の相談件数が増えていると思うが、継続的な支援についての考え方は？ 【回答】 昨年度から計画相談をきっかけに相談支援に入る方が増えたが、なるべく私たちだけで抱え込まないよう、ご本人を支援している関係機関、訪問看護師やあんしんサポート、生活支援ワーカー、介助派遣事業所、日中活動事業所の皆さんと一緒に考えて動くよう心がけています。		
	3 区における地域課題について			

事業所名		都島区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
4－2　一連の自己評価のプロセスを終えて		昨　年　度	今　年　度
		昨年度は、相談支援の再編でとにかく計画相談支援に追われる一年でしたが、その中でも別紙その他の取り組みにあるように、当センター独自の取り組みで地域の方たちとの関係作り、障害啓発、情報発信、調査研究など行ってきました。社会資源の少ない都島区で、障害者支援のネットワーク構築にはまだ時間が掛かりそうですが、取り組みを継続していきながら、区相談支援センターとしての役割を今後も果たしていきたいと考えます。	2012年から都島区障害者相談支援センターを2年間担っていくなかで、個別のケース支援を通じて、また地域での講演会や研修会開催、様々な会議や交流を通じて、関係機関や地域の方々との支援ネットワークが徐々に出来てきました。そして、区内の障害者総合相談窓口として、障害に関する情報発信・啓発・支援の拠点となるセンターとして、地域のなかで知られるようになってきたと実感してきています。 当事者が中心となって運営している私たち自立生活センターが、障害者の立場・視点に立って地域の課題に取り組み、障害者の地域での自立生活に向けてさらに取り組んでいきたいと考えています。